



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月12日

上場会社名 神戸天然物化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6568 URL <https://www.kncweb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 仁志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 栗山 康秀 TEL 078 (955) 9900  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月23日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	8,628	16.0	2,163	97.7	2,199	99.4	1,542	139.8
2022年3月期	7,440	23.4	1,094	72.2	1,102	62.8	643	61.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	200.06	-	13.8	15.0	25.1
2022年3月期	82.78	-	6.2	8.3	14.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	15,404	11,745	76.2	1,523.41
2022年3月期	13,951	10,575	75.8	1,359.28

(参考) 自己資本 2023年3月期 11,745百万円 2022年3月期 10,575百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	1,993	△1,146	△523	2,297
2022年3月期	585	△613	39	1,973

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00	194	30.2	1.9
2023年3月期	-	10.00	-	18.00	28.00	215	14.0	2.0
2024年3月期(予想)	-	15.00	-	15.00	30.00		19.6	

### 3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,960	3.8	1,700	△21.4	1,700	△22.7	1,180	△23.5	153.05

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年3月31日現在の発行済株式数を使用しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 12「3. 財務諸表及び主な注記 (5) 財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	7,779,900株	2022年3月期	7,779,900株
2023年3月期	70,169株	2022年3月期	36株
2023年3月期	7,711,879株	2022年3月期	7,773,044株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明会資料の入手方法)

当社は、2023年5月16日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(持分法損益等)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における国内外の状況は、新型コロナウイルス感染症が変異しながら拡大と収束を繰り返す一方、日常生活や経済活動における感染防止の取組み、科学的知見の積み重ね、医療体制をはじめとする政府・自治体の取組みなど、対応力が強化され景気の持ち直しが期待されていました。そのような中、世界的には金融引締めが続 き、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響も不透明な状況が続いており、引き続き十分な注意が必要な状況が続いております。

このような状況の下、当社は中期経営計画の基本方針に沿って、引き続き生産ソリューション提供の拡大による事業構造の変革、新技術の開発、製造合理化等による一層の業績改善に注力してまいりました。

機能材料事業部門は、量産ステージのエレクトロニクス関連材料で川下企業の在庫調整の影響を受け需要が軟調となりましたが、医薬関連材料は想定を上回る需要を獲得することができました。また、研究・開発ステージ製品の販売についても堅調に推移した結果、機能材料事業部門の売上高は2,832,115千円（前年同期比0.9%減）となりました。

医薬事業部門は、量産ステージにて販売が堅調に推移した一方、開発ステージでは低分子、中分子ともに新規案件の獲得に成功し大きく売上、利益を伸ばしました。研究ステージについてはFTEなどを中心に堅調に推移した結果、医薬事業部門の売上高は4,259,142千円（前年同期比29.6%増）となりました。

バイオ事業部門は、量産ステージにて軟調に推移しましたが、研究・開発ステージについては好調な需要の取込みに成功し大きく伸ばしました。その結果、バイオ事業部門の売上高は1,536,751千円（前年同期比18.7%増）となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は8,628,009千円（前年同期比16.0%増）、営業利益は2,163,738千円（前年同期比97.7%増）、経常利益は2,199,115千円（前年同期比99.4%増）、当期純利益は1,542,843千円（前年同期比139.8%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は7,459,312千円となり、前事業年度末に比べて1,111,883千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が323,687千円、当事業年度における売上増加により売掛金が272,324千円、原材料及び貯蔵品が217,314千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は7,945,199千円となり、前事業年度末に比べて341,042千円増加いたしました。これは主に当社の設備の購入等で有形固定資産が291,084千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は15,404,512千円となり、前事業年度末に比べて1,452,926千円増加いたしました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は2,728,195千円となり、前事業年度末に比べて681,384千円増加いたしました。これは主に短期借入金の資金調達により300,000千円、未払法人税等が328,063千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は931,254千円となり、前事業年度末に比べて398,517千円減少いたしました。これは主に借入金の約定返済により長期借入金が439,980千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,659,450千円となり、前事業年度末に比べて282,867千円増加いたしました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は11,745,062千円となり、前事業年度末に比べて1,170,058千円増加いたしました。

これは主に当期純利益の計上等により利益剰余金が1,262,022千円増加したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,297,276千円となり、前事業年度末に比べて323,687千円の増加となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動の結果、得られた資金は1,993,942千円（前年同期は585,109千円の収入）となりました。これは主に棚卸資産の増加額507,973千円の資金減少要因があった一方で、税引前当期純利益2,172,363千円、減価償却費919,076千円の資金増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動の結果、1,146,863千円の支出（前年同期は613,514千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,130,212千円の資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動の結果、523,391千円の支出（前年同期は39,017千円の収入）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出439,980千円及び配当金の支払額271,646千円の資金減少要因があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社を取り巻く外部環境は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が2023年5月8日に5類感染症へ移行されるなど経済活動の更なる回復が期待される中、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れが国内景気を押し下げるリスクがあり、また地政学リスクの高まりによるエネルギー資源価格の高騰は長期化しており依然と不透明な状況が続いております。

当社の事業領域である有機化学品の受託業界におきましては、技術の細分化・深化が進んだことにより、研究開発を外部委託する傾向が続くと予想しています。

このような状況下、当社といたしましては、将来に渡り持続的に成長が出来る基盤を築く事を目指し、積極的に設備及び人材への投資を行いつつ、生産性の効率化を図ってまいります。

具体的には、人材の育成と採用への積極投資を実施することにより、将来の成長のための布石とします。

また、中分子医薬品分野などの新たな技術獲得を目指した研究開発とともに、新規原薬製造案件獲得のための研究開発を引き続き行い、将来の成長のための投資といたします。

次期の業績予想は、前期に取り込めた需要を引き続き獲得することにより、販売は好調に推移するものの、原材料やエネルギーコストの上昇が利益を圧迫するなど厳しい状況を想定しております。

2024年3月期については原材料やエネルギー資源価格高騰による影響は継続すると予想していますが、当社に与える影響は不透明です。このような状況で2024年3月期の業績見通しの前提となる条件は次のとおりです。

①売上高

売上高につきましては、受注残高、顧客からの年間発注計画や発注見込みのヒアリング、前期売上実績及び製品開発の進捗状況などの情報から予想値を算出しております。

②営業利益

営業利益につきましては、売上高の予想値を前提として策定される売上原価計画、販管費計画を踏まえて算出した金額を予想値としております。

売上原価計画については、主に資源価格の高騰、製造設備投資による減価償却費、人員増による人件費の増加等の固定費の増加を見込んでおります。

販売費及び一般管理費計画については、主に人員増による人件費の増加を見込んでおります。

③経常利益

経常利益につきましては、当期に発生が見込まれる営業外収益、営業外費用を考慮して算出した金額を予想値としております。

④当期純利益

当期純利益につきましては、当期に発生が見込まれる特別利益、特別損失、税金費用を考慮して算出した金額を予想値としております。

以上の結果、2024年3月期の業績見通しは、売上高8,960百万円(前期比3.8%増)、営業利益1,700百万円(前期比21.4%減)、経常利益1,700百万円(前期比22.7%減)、当期純利益1,180百万円(前期比23.5%減)と予想しております。

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減率
売上高	8,628	8,960	+3.8%
営業利益	2,163	1,700	△21.4%
経常利益	2,199	1,700	△22.7%
当期純利益	1,542	1,180	△23.5%

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,973,588	2,297,276
売掛金	2,518,418	2,790,743
製品	367,675	445,824
仕掛品	921,835	1,134,344
原材料及び貯蔵品	482,435	699,750
前払費用	33,458	46,775
その他	50,017	44,597
流動資産合計	6,347,428	7,459,312
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,211,126	3,621,828
構築物（純額）	103,404	123,507
機械及び装置（純額）	1,400,699	1,433,320
車両運搬具（純額）	4,462	10,520
工具、器具及び備品（純額）	128,665	154,621
土地	1,842,308	1,847,067
建設仮勘定	218,075	8,960
有形固定資産合計	6,908,741	7,199,825
無形固定資産		
ソフトウェア	43,173	39,496
その他	2,499	24,023
無形固定資産合計	45,673	63,520
投資その他の資産		
投資有価証券	238,276	221,451
出資金	15,988	11,286
繰延税金資産	268,739	336,525
その他	126,737	112,589
投資その他の資産合計	649,742	681,853
固定資産合計	7,604,157	7,945,199
資産合計	13,951,586	15,404,512

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	277,704	305,593
短期借入金	200,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	439,980	439,980
未払金	284,610	311,186
未払費用	106,605	130,562
未払法人税等	236,744	564,807
未払消費税等	199,727	52,544
契約負債	56,850	100,870
預り金	11,396	12,704
前受収益	4,198	3,149
賞与引当金	228,348	306,469
受注損失引当金	643	328
流動負債合計	2,046,810	2,728,195
固定負債		
長期借入金	1,036,710	596,730
退職給付引当金	278,131	320,743
その他	14,930	13,781
固定負債合計	1,329,772	931,254
負債合計	3,376,582	3,659,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,995,106	1,995,106
資本剰余金		
資本準備金	1,895,106	1,895,106
資本剰余金合計	1,895,106	1,895,106
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
別途積立金	3,771,000	3,771,000
繰越利益剰余金	2,772,427	4,034,450
利益剰余金合計	6,568,427	7,830,450
自己株式	△51	△78,252
株主資本合計	10,458,589	11,642,411
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	116,413	102,650
評価・換算差額等合計	116,413	102,650
純資産合計	10,575,003	11,745,062
負債純資産合計	13,951,586	15,404,512



## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	7,440,588	8,628,009
売上原価		
製品期首棚卸高	354,315	367,675
当期製品製造原価	5,465,917	5,531,016
合計	5,820,232	5,898,692
他勘定振替高	119,299	128,596
製品期末棚卸高	367,675	445,824
売上原価	5,333,257	5,324,270
売上総利益	2,107,330	3,303,739
販売費及び一般管理費	1,012,830	1,140,000
営業利益	1,094,500	2,163,738
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	3,519	4,102
受取手数料	9,151	10,206
助成金収入	6,827	10,598
出資金運用益	—	19,059
その他	644	1,354
営業外収益合計	20,155	45,334
営業外費用		
支払利息	9,984	9,689
支払手数料	662	226
出資金運用損	369	—
その他	647	41
営業外費用合計	11,663	9,957
経常利益	1,102,992	2,199,115
特別利益		
固定資産売却益	234	27
受取保険金	—	2,992
国庫補助金	—	1,275
特別利益合計	234	4,294
特別損失		
固定資産売却損	2,523	—
固定資産除却損	17,908	28,281
固定資産圧縮損	—	2,765
特別功労金	100,000	—
損害補償金	66,029	—
特別損失合計	186,461	31,046
税引前当期純利益	916,765	2,172,363
法人税、住民税及び事業税	333,301	691,243
法人税等調整額	△59,999	△61,723
法人税等合計	273,302	629,520
当期純利益	643,463	1,542,843

## 製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	1,257,936	23.5	1,430,034	24.9
II 労務費		1,786,842	33.4	1,927,725	33.6
III 経費		2,304,172	43.1	2,386,081	41.5
当期製造費用		5,348,951	100.0	5,743,841	100.0
仕掛品期首棚卸高		1,038,945		921,835	
合計		6,387,896		6,665,676	
仕掛品期末棚卸高		921,835		1,134,344	
受注損失引当金繰入額		643		328	
受注損失引当金戻入額		788		643	
当期製品製造原価		5,465,917		5,531,016	

(注) ※ 経費の主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円) (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (千円) (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
減価償却費	884,580	870,947
消耗品費	704,011	698,509
水道光熱費	197,615	270,286
保守点検費	179,952	200,086

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、実際原価に基づく個別原価計算であります。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,982,631	1,882,631	1,882,631	25,000	3,771,000	2,322,971	6,118,971	△51	9,984,181	
当期変動額										
新株の発行	12,475	12,475	12,475						24,950	
剰余金の配当						△194,006	△194,006		△194,006	
当期純利益						643,463	643,463		643,463	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	12,475	12,475	12,475	—	—	449,456	449,456	—	474,407	
当期末残高	1,995,106	1,895,106	1,895,106	25,000	3,771,000	2,772,427	6,568,427	△51	10,458,589	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	136,591	136,591	10,120,773
当期変動額			
新株の発行			24,950
剰余金の配当			△194,006
当期純利益			643,463
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△20,178	△20,178	△20,178
当期変動額合計	△20,178	△20,178	454,229
当期末残高	116,413	116,413	10,575,003

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			利益剰余 金合計			
		資本準備金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利益剰余金					
					別途積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	1,995,106	1,895,106	1,895,106	25,000	3,771,000	2,772,427	6,568,427	△51	10,458,589	
当期変動額										
剰余金の配当						△271,593	△271,593		△271,593	
当期純利益						1,542,843	1,542,843		1,542,843	
自己株式の取得								△111,538	△111,538	
自己株式の処分						△9,227	△9,227	33,338	24,111	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	1,262,022	1,262,022	△78,200	1,183,821	
当期末残高	1,995,106	1,895,106	1,895,106	25,000	3,771,000	4,034,450	7,830,450	△78,252	11,642,411	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	116,413	116,413	10,575,003
当期変動額			
剰余金の配当			△271,593
当期純利益			1,542,843
自己株式の取得			△111,538
自己株式の処分			24,111
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△13,762	△13,762	△13,762
当期変動額合計	△13,762	△13,762	1,170,058
当期末残高	102,650	102,650	11,745,062

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	916,765	2,172,363
減価償却費	929,265	919,076
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,142	78,120
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,007	42,611
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△144	△315
受取利息及び受取配当金	△3,532	△4,116
助成金収入	△6,827	△10,598
出資金運用損益 (△は益)	369	△19,059
支払利息	9,984	9,689
受取保険金	—	△2,992
国庫補助金	—	△1,275
固定資産売却損益 (△は益)	2,288	△27
固定資産除却損	17,908	28,281
固定資産圧縮損	—	2,765
特別功労金	100,000	—
損害補償金	66,029	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,377,567	△272,775
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△29,083	△507,973
仕入債務の増減額 (△は減少)	21,854	27,889
契約負債の増減額 (△は減少)	56,850	44,019
未払消費税等の増減額 (△は減少)	168,577	△147,183
その他	37,509	70,445
小計	921,398	2,428,945
利息及び配当金の受取額	3,532	4,116
助成金の受取額	6,827	10,598
保険金の受取額	—	2,992
利息の支払額	△10,074	△9,649
特別功労金の支払額	△100,000	—
損害補償金の支払額	—	△66,029
法人税等の支払額	△236,573	△377,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	585,109	1,993,942
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券等の取得による支出	△2,810	△7,699
投資有価証券等の売却による収入	—	28,461
有形固定資産の取得による支出	△833,299	△1,130,212
有形固定資産の売却による収入	485	27
有形固定資産の除却による支出	△80	—
国庫補助金による収入	222,115	1,275
その他	75	△38,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△613,514	△1,146,863
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△366,654	△439,980
長期借入れによる収入	400,000	—
自己株式の取得による支出	—	△111,538
配当金の支払額	△193,905	△271,646
その他	△423	△226
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,017	△523,391
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,612	323,687
現金及び現金同等物の期首残高	1,962,975	1,973,588
現金及び現金同等物の期末残高	1,973,588	2,297,276

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準の適用指針」という。)を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

これによる、財務諸表への影響はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の事業は、事業セグメントの集約基準に基づいてこれらを集約し、「有機化学品の研究・開発・生産ソリューション事業」を単一の報告セグメントとしております。そのため、セグメント情報を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,359円28銭	1,523円41銭
1株当たり当期純利益	82円78銭	200円06銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益(千円)	643,463	1,542,843
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	643,463	1,542,843
普通株式の期中平均株式数(株)	7,773,044	7,711,879

(重要な後発事象)

該当事項はありません。